

同じようにもどって来る

聖園女学院中学校

一年 金井 綾音

のどがかわいた私のコップに水がはいっていく。それは、いつも祖父がくみに行ってくれるおいしい湧き水だった。祖父はともあまくておいしい野菜や果物を育てている。どうしてこんなにおいしい野菜や果物がつくれるのだろうか、と疑問に思った私は祖父においしさの秘訣を聞いてみた。すると、野菜や果物を植えている田んぼに湧き水をつかっていると教えてもらった。その湧き水は、志賀高原に降った雪、雨水が地下に浸透し、時間をかけ山のおもとから湧き水となって出てきているのだそう。

湧き水について調べてみると、湧き水は必ず安全に飲めるものではなかった。湧き水地には多くの人が訪れるため、それらの人々によるゴミの不法投棄などにより湧

き水周辺の環境が汚染されることもある。それほど人が集まることのない湧き水地であっても、ゴミを捨てるようなことはあってはならないと思う。雪や雨水のように汚い水でも、きれいなおいしい水になるのは、地面に染み込み、いくつもの地層でろ過され、水を通しにくい層を通過してきたからだ。人工的に層をつくったわけではなく、自然の力で地層ができたのだと思うと自然はとてもすごい。そうしてゆっくりとろ過されてきた水が湧き水としてでてきているのだ。あまり深く考えたことはなかったが人はたくさん自然からヒントをもらいながら生活している。

結局は、海の水が蒸発して水蒸気になり、雲になり、雪や雨になっていく。つまり、海の水をきれいにすることが自分たちの大切な水源を守ることにつながるということだ。

私たちはあたりまえのように水をつかっている。汚い水を流せば汚い水がもどってきて、きれいにつかえばきれいにもどってくると思えば、水を大切につかうことを意識していきたいと思う。そうすれば、祖父のようにおいしい水で野菜や果物をつくれるなど、たくさんプラスな

ことがあると思う。ほんの少しでも水を守るための行動
ができたなら未来の人のためと思えるのではないだろ
うか。